

2015年、当社は100周年を迎えました。
当社の歴史や製品にまつわる収蔵品がある
博物館・美術館をご紹介します。

安川電機 & ミュージアム

第7回

田川市石炭・歴史博物館

所在地 福岡県田川市大字伊田2734番地1
開館時間 9:30～17:30 ※入館は17:00まで
休館日 毎週月曜日(祝日・休日の場合は翌日)、年末年始
URL <http://www.joho.tagawa.fukuoka.jp/sekitan/>

<博物館の概要>

田川市伊田の石炭記念公園に隣接する田川市石炭・歴史博物館は1983年に開館した石炭に関する歴史を模型やジオラマを交えてわかりやすく展示している博物館です。館内展示だけでなく、屋外展示では石炭の採掘で使われた大型機械やSL、炭鉱で働いていた人々の住居(再現)などがあり、かつての日本の石炭産業を幅広く知ることができます。

今年の7月に北九州市の官営八幡製鐵所関連施設などからなる「明治日本の産業革命遺産製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」がユネスコの世界遺産に登録されましたが、こちらの博物館では、2011年にユネスコの世界記憶遺産に登録された炭鉱記録画などからなる山本作兵衛コレクションを所蔵しており、今年登録された九州に点在する世界遺産と合わせてこちらを見学すると、明治日本の産業革命の遺産に加えて、その時代や人々の暮らしについて知ることができます。



筑豊のシンボル「田川の二本煙突」(国の登録有形文化財)



坑道ジオラマ(手掘採掘)



山本作兵衛が描いた炭坑記録画(世界記憶遺産)

<当社に関わる展示>

館内の展示や説明パネルでは、筑豊の石炭産業について詳しく知ることができます。

明治日本の産業革命遺産や筑豊の石炭産業について、また、当社や安川家が石炭産業に関連があったことを多くの方がご存知と思いますが、どこでどのように石炭を採掘していたか、その時代に人々はどう暮らしていたかを具体的に知る機会は少ないと思います。こちらの博物館では、以前使われた機械や再現住居などで当時の雰囲気を感じられることに加えて、当時の筑豊の石炭産業についてのパネルや資料が充実しており、そこでは安川家や明治鉱業の事績についても触られています。

かつての筑豊や石炭産業の繁栄を知り、筑豊から北九州地域への産業の変遷を知る。そうしたなかに馴染みの地名や安川という文字を見つけると意外と面白いものです。

今年の世界遺産登録をきっかけに、九州の世界遺産を見学したい方、九州へ行ってみようという方へ、世界記憶遺産を所蔵するこちらの博物館もオススメです。